

骨髄バンクチャリティー第1回全日本シニアフルコンタクト空手道選手権大会

出場選手募集要項

- 1.大会名:骨髄バンクチャリティー第1回全日本シニアフルコンタクト空手道選手権大会
- 2.開催日:2026年5月30日(土) ※土曜日~~のみ~~の開催です
- 3.会場:京王アリーナ TOKYO(東京都調布市西町 290-11) ※駐車場の用意はございません。
- 4.主催:公益社団法人全日本フルコンタクト空手道連盟
- 5.後援(予定):公益社団法人日本骨髄バンク/厚生労働省/国土交通省/株式会社ジェイ・スポーツ/他
- 6.出場資格:JFKO 加盟団体に所属している者で、健康でかつ感染症などの疾患がない男女(女子は大会時に妊娠していないこと)。
- 7.階級:全23階級。詳細は「17.階級表兼年齢基準表」を参照のこと ※今大会はマスタース部門の開催はございません。
- 8.試合形式:全日本フルコンタクト空手道連盟 試合規約(公式HPを参照)に準じた組手競技
- 9.エントリー:
 - ①方法:オンラインエントリー(専用フォームは公式HPに掲載します)
※エントリー完了後(フォーム送信後)の出場キャンセルはできません。出場料をお支払いいただきます。
 - ②期間:2月16日(月)15時00分～3月2日(月)15時00分 ※期間終了後の受付はいたしません。
 - ③確認:エントリー期間中、公式HPにて定期的に出場者一覧を掲載します。また締め切り後、所属長に出場選手一覧をメール送信(3/10予定)しますので、選手・所属長はエントリーが完了されているかを確認してください。
 - ④訂正:エントリー期間終了後、所属長によるエントリー内容の確認期間(3/10～16予定)を設けます。所属長は選手データの内容を確認し、訂正がある場合は所属長より大会事務局までメールにてご連絡ください。なお、あくまで氏名の漢字間違いなどのみが訂正可能です。出場階級の変更や選手の追加・キャンセルの受付は出来ませんので、フォーム送信の際は今一度ご確認をお願いいたします。万が一間違った内容を送信された場合は、エントリー期間内に所属長を通じ大会事務局までメールにて訂正内容をお送りください。
- 10.出場料:16,500円
- 11.支払方法:団体一括での銀行振入。出場選手の確認期間終了後に所属長へ出場料一覧表をメール送信します。選手は所属長へ出場料をお預けください。
- 12.スケジュール:グループローテーション制(階級をいくつかのグループに分割して試合進行)を採用します。アリーナには人数制限を設ける予定です。一方、観客席には人数、グループ入れ替え等の制限は設けません。詳細は確定次第、公式HPに掲載(4月上旬予定)します。
- 13.選手の入場エリア・観戦エリア:

選手の入場エリア・観戦エリアについては、下記をご参照ください。チケット販売の詳細については確定次第、公式HPに掲載いたします。

 - ①5月30日(土)
 - a)アリーナ…自身の試合またはセコンドの場合のみ入場可(当該試合が終了後、速やかにアリーナを退出)。着席にて観戦の場合は別途チケットを購入してください。
 - b)スタンド…3Fまたは4Fスタンドにて着席、観戦可(出場料に入場料金が含まれています)。
 - ②5月31日(日)【第10回全日本フルコンタクト空手道選手権大会】
 - a)入賞選手…各階級入賞選手は、3Fスタンド特別観戦エリアをご用意いたしますので、本エリアにて着席、観戦が可能(4Fスタンドも着席可能)です。アリーナに着席の場合は、別途チケット購入が必要です。
 - b)その他の選手…3Fまたは4Fスタンドにて着席、観戦可能(出場料に入場料金が含まれております)です。アリーナに着席の場合は、別途チケット購入が必要です。

※5月31日(日)の「第10回全日本大会」に出場する選手のセコンドを行う場合は、アリーナ席のチケット購入が必要です。

14. 試合時間:

階級	本戦	延長戦(マスト判定)
各階級	1 分 30 秒	1 分 30 秒

※1)本戦で勝敗が決しない場合は、延長戦を行います(マスト判定システム)。

※2)試合時間は変更する場合がございます(主催者判断)。

15. 着用防具: ○印は「着用義務が有り」の意、×は「着用を禁ずる」の意

階級/部位	頭部 インナーは任意	脛と 足甲	膝	拳	下腹部	胸部	赤帯/赤マーク	マスト-ス/帯どめ 心臓しんとうパッド
男子各階級	○	○	○	○	○	×	○	任意
女子各階級	○	○	○	○	○	○	○	任意

※1)防具は「防具ガイドライン(公式 HP 参照)」に記載の商品のみが着用可能です。必ずご確認ください。

※2)防具(ヘッドガード・赤帯セット含む)の貸し出しは一切行いません。選手ご自身でご準備をお願いいたします。

16. 注意事項:

- ①出場選手(所属長・同伴者・セコンド・関係者含む)は、主催者が設けた全ての規約、規制、本要項記載事項、公式 HP 掲載事項、その他の指示に従って行動してください。規約等の違反が認められた(主催者判断)場合、その場で出場資格を取り消すだけでなく、以後の大会についても出場選手だけでなく所属流派・団体の出場もお断りいたします。
- ②出場選手(団体代表者・同伴者・セコンド・関係者含む)による審判や判定、運営に対する異議は一切受け付けません。なお苦情や粗暴・非礼な振る舞い(主催者判断)を確認した場合、その場で出場資格を取り消すだけでなく、以後の大会についても出場選手だけでなく所属流派・団体の出場もお断りいたします。
- ③運営上の失格(自身の試合開始時刻の管理不備、防具や赤帯・赤マークの不備等)がございます。その際、主催者(審判員・スタッフ含む)への苦情は一切受け付けません。詳細は公式 HP に掲載の「試合規約」、「防具ガイドライン」を合わせてご確認ください。
- ④大会当日、試合開始時刻の管理は当該試合に出場する選手の責任で行ってください。全試合の開始時刻に、当該選手が所定位置に不在の場合は 理由の如何に関わらず失格となります。その際、主催者(審判員・スタッフ含む)への苦情は一切受け付けません。
- ⑤着用防具(赤帯・赤マーク含む)の管理は選手の責任で行ってください。防具(ヘッドガード・赤帯・赤マーク含む)の貸し出しは一切行いません。着用義務がある防具を必ず各自でご用意ください。防具が正しく着用されていない場合(道着またはTシャツの内側に着用していない、赤帯・赤マークの4点セットに不備がある等)は失格となる場合があります。また、防具の加工、劣化(打撃・保護部分である手足の甲、膝、脛等をカバーしていない、パッドが薄い等)を審判に判断された場合は失格となります。防具の不備等による試合への遅刻は、いかなる理由があっても失格となります(スタッフの指摘による買い替え等も含む)。防具不備による失格に対する主催者(審判員・スタッフ含む)への苦情は一切受け付けません。
- ⑥**出場全選手(重量級含む)は主催者指定の体重計測(計量)が必須です。**計量は男女同室で指定服装(道着下(ズボン)と半袖Tシャツ)にて計測します。計測値から 1 kg 差引いた数値を**公式体重**とします。なお、この指定服装以外で計量する場合は、計測値が公式体重となります。下着のみ、裸身での計量は固くお断りいたします。なお下記の場合は**失格**となります。
 - a)公式体重が各階級の規定体重を超過した場合
 - b)公式体重がエントリー時に申告した体重と 7 kg 以上の差があった場合(規定体重内に収まっても失格)
 - c)指定時間内に計測ができなかった場合
 計量日程は 5 月 29 日(金)・30 日(土)です。29 日(金)の計量に合格した選手は 30 日(土)に計量する必要はございません。スケジュールの詳細については確定次第、公式 HP に掲載します。
- ⑦出場選手は、公式 HP に掲載の「服装規定」を必ず確認してください。選手は武道家らしく質実な身なりを整えてください。頭髮の染髪や脱色は不可です。装飾品(ミサンガ、ピアス、イヤリング、指輪など)も一切身に付けてはなりません。装飾品に起因する競技中の負傷事故やトラブル等は、対戦相手への補償も含めて、装飾品を装着した選手がすべての責任を負っていただきます。男子選手は道着の上衣は素肌の上から着用してください。入れ墨がある選手は試合中に露出しないよう白Tシャツを着用してください。前腕部に入れ墨がある場合は白色長袖可です。この場合(入れ墨)は試合場スタッフに着用

を申し出て許可を得てください。また、女子選手が着用するインナーT シャツは、道着同様に純白(胸部の名刺サイズ相当のワンポイント柄は可)です。大会の趣旨にふさわしくない身なり(主催者判断)の選手は出場をお断りいたします。

⑧各階級には年齢基準を設けています(17. 階級表兼年齢基準表を参照)。該当する階級にお申し込みください。年齢基準を越えての出場はできません。一方、各階級の中量級・重量級は、規定体重未満の選手も出場することができます。

⑨試合の判定方法には、3 審制(主審 1 名と副審 2 名による判定)を採用する場合がございます。

⑩主催者の判断により、階級の統合、分割、廃止がございます。なお事前に選手への意思確認は行いません(統合・分割後の変更階級をご案内します)。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

⑪大会前に生じた負傷の為にテーピングを必要とする時は、必ず傷病名の記載された整形外科医師による診断書(接骨師等、医師でない人物の書いた文書は診断書と認められません)を持参し、大会当日、大会医師の認定を受けてください。大会医師によるテーピング上への検印をもって、試合中のテーピングは許可されます。また同様に試合進行後に生じた負傷に対するテーピングについても、大会医師による診察後の検印が必要です。ただし、「試合中のサポーター・テーピングは原則として認めない」という大会の原則に則り、安易なテーピングの使用は許可されないということをご了承ください(ブリーズライト等の鼻腔拡張テープ含む)。その他、以下についてもご留意ください。

a) 試合の公正の原則に基づいて、テーピングは選手自身、あるいは選手を支えるスタッフが巻く。医療班は一切の手助けをできない。

b) テーピングが試合において武器となりうると判断した場合は巻き直しを指示する。基本的には2重巻き程度までとする。

c) 以上の規定以外にも、審判長と協議して不適切と判断した場合、巻き直しを命ずる。

なお、本大会医師が許可しないテーピングを使用した場合は失格です。前述の許可後に、許可証部分(検印など)を切り取って、あらたに巻き直したテーピングの上に貼り付けるなどの不正が発覚した場合も失格となります。詳細は公式 HP に掲載の「テーピング注意事項」を必ず確認してください。

⑫氷や医薬品等は必ず選手(または付き添い)がご持参ください。大会ドクターは会場に駐在していますが、原則的に応急手当しか行いません。また、フルコンタクト空手競技で当然起こり得る打撲や大会ドクターが軽傷と判断する負傷は、自前の医薬品や氷を利用して各自で処置してください。なお氷は体育館の洗面所には捨てないでください。施設設備の故障に繋がる可能性がありますので、所定の場所への廃棄をお願いします。出血を伴う外傷は大会ドクターが処置をします。試合後、頭部への打撃などで身体に異変が生じた場合は、必ず大会ドクターに相談してください。試合中の重傷によってドクターストップが指示された場合は、その判断に従ってください。

⑬本大会はグループローション制のため、選手への弁当は用意しておりません。

⑭入賞数は各階級の出場者数に応じて変動します(7 名以下 1 名、15 名以下 2 名、63 名以下 4 名、64 名以上 8 名)。

⑮不慮の事故などで出場が不可能になった選手は、速やかに大会事務局に連絡してください。

⑯大会当日は必ず健康保険証を持参してください。試合中に負傷または事故(重症・死亡・後遺症含む)が生じた場合、主催者が加入している賠償保険の範囲内(死亡 100 万円・入院日額 3,000 円等の保険です。打撲や捻挫等での通院の治療費が出る保険ではありません。保険適用の申請は、大会終了後 1 週間以内に大会事務局にメール連絡すること)で被保険者への補償をしますが、その範囲外の責任は一切負いません。その場合、選手及びその保護者(関係者含む)は、主催者や大会役員等の大会関係者、及び対戦相手等に対して一切の損害賠償や苦情申し立てをしないものとします。

⑰出場選手の肖像権は主催者に帰属します。出場選手の映像や画像(氏名や住所の一部等も含む)は、主催者が発行する広告、出版物、カタログ、ホームページ等に使用することがあります。また、各種メディアが取材する場合があります。映像や画像が放映、掲載される場合がございます。

⑱会場内での写真・動画撮影は制限いたしません。但し、以下を禁止とします。

a) 運営の妨げになる場所での撮影

b) 三脚を立てての撮影

c) 試合動画を動画共有サイトにアップロードし不特定多数に公開すること

またアップロードする動画や写真、コメントには以下のものを含まないようにご注意ください。これらが認められた場合は削除申請などを行います。

d) 選手や各団体を誹謗中傷するもの

e) 著作権侵害や違法性(他人のプライバシーなど)が認められるもの

⑲エントリーの際にお預かりした個人情報等は主催者にて厳重に管理します。大会での連絡業務及び大会運営に必要な業務以外の目的で出場者に許可なく使用することは一切ございません。

⑩トーナメントは4月中旬に公式HPにて公開予定、ゼッケンは5月中旬の送付(所属長宛て)を予定しています。

⑪主催者の判断によって、本大会に関する事前告知のない変更が生じる場合がございます。

⑫大会に関する問い合わせは、所属長を通じメール(info@fullcontact-karate.jp)にてご連絡ください。

⑬本要項に記載のない事項が生じた場合は、別途主催者がこれを定めます。

17. 階級表兼年齢基準表:

※1)今大会は、マスタース部門の開催はございません。

※2)年齢基準を越えての出場はできません。一方、各階級の中量級・重量級は、規定体重未満の選手も出場することができます。

※3)出場申込者のうち、各団体主催の世界大会、全日本大会、及びそれに準じる選手権大会にて高戦績が認められる申込者には、参加者の競技力の著しい不均衡と安全確保の観点からお申し込みをお断りする場合がございます(主催者判断)。

【階級表兼年齢基準表】

階級番号	階級	年齢基準(誕生始期～誕生終期)
(01)	男子 40歳以上 45歳未満 軽量級(65 kg未満)	1982年4月2日 ～ 1987年4月1日生
(02)	男子 40歳以上 45歳未満 中量級(75 kg未満)	
(03)	男子 40歳以上 45歳未満 重量級(75 kg以上)	
(04)	男子 45歳以上 50歳未満 軽量級(65 kg未満)	1977年4月2日 ～ 1982年4月1日生
(05)	男子 45歳以上 50歳未満 中量級(75 kg未満)	
(06)	男子 45歳以上 50歳未満 重量級(75 kg以上)	
(07)	男子 50歳以上 55歳未満 軽量級(65 kg未満)	1972年4月2日 ～ 1977年4月1日生
(08)	男子 50歳以上 55歳未満 中量級(75 kg未満)	
(09)	男子 50歳以上 55歳未満 重量級(75 kg以上)	
(10)	男子 55歳以上 60歳未満 軽量級(65 kg未満)	1967年4月2日 ～ 1972年4月1日生
(11)	男子 55歳以上 60歳未満 中量級(75 kg未満)	
(12)	男子 55歳以上 60歳未満 重量級(75 kg以上)	
(13)	男子 60歳以上 65歳未満 軽量級(65 kg未満)	1962年4月2日 ～ 1967年4月1日生
(14)	男子 60歳以上 65歳未満 中量級(75 kg未満)	
(15)	男子 60歳以上 65歳未満 重量級(75 kg以上)	
(16)	女子 40歳以上 45歳未満 軽量級(55 kg未満)	1982年4月2日 ～ 1987年4月1日生
(17)	女子 40歳以上 45歳未満 重量級(55 kg以上)	
(18)	女子 45歳以上 50歳未満 軽量級(55 kg未満)	1977年4月2日 ～ 1982年4月1日生
(19)	女子 45歳以上 50歳未満 重量級(55 kg以上)	
(20)	女子 50歳以上 55歳未満 軽量級(55 kg未満)	1972年4月2日 ～ 1977年4月1日生
(21)	女子 50歳以上 55歳未満 重量級(55 kg以上)	
(22)	女子 55歳以上 60歳未満 軽量級(55 kg未満)	1967年4月2日 ～ 1972年4月1日生
(23)	女子 55歳以上 60歳未満 重量級(55 kg以上)	

■第1回全日本シニアフルコンタクト空手道選手権大会 事務局■

E-mail:info@fullcontact-karate.jp 公式HP:http://fullcontact-karate.jp/